

2024年8月27日

## ラジオ体操 地域を巡回していて気づいたこと2(R6年8月)

林 但

小学校が夏休みに入った7月20日以降、在住の町内会から午前中に予定のない日に少しずつ範囲を広げてラジオ体操実施状況の確認をしながら参加の方と一緒に体操を行っている。そこで見た事・聞いたこと・感じたこと等を以下に記載いたします。7月発行の部分にも記載のように実施状況は多様化(期間限定・月水金・毎日他)しており、確認しながら訪問している。主催者も保健所にラジオ体操登録団体・子供会・高齢者の会・以前は子ども会だったが今は町内会等色々である。

武山地域には町内会加入数で1400世帯から22世帯の町内会まで、数は16ある。まだ、全部が把握できていない。

■ 参加の方から伺った声は以下の通りです。(多くの方から伺いましたが印象に残るもの)

- ・朝体操をすると1日が元気にスタートでき気持ちも晴れやかだ(多くの方から)
- ・数少ない小学生は、体操に来ることで規則正しい生活ができているように感じている(小学4年生)
- ・朝ウォーキングに出るため5時ごろ自宅を出る、曜日によってコースは変えている。最後の所でラジオ体操を行っている。気持ちが良い。(元地域のウォーキング会 仲間の方)
- ・ラジオ体操はNHKラジオの放送に併せて元気よく歌って行うのが一番だ！ CDを聞きながら行うのはなんとなく気持ちも入りにくい(70歳代)
- ・ラジオ体操前には公園をひと回りすると、ひとつかふたつごみや缶・ペットボトルが落ちているので拾っている(10年来体操を行っている方でグラウンド・ゴルフも常連の方)
- ・ラジオ体操は楽しい(小学2年生)
- ・町内会などでは、ラジオ体操カードに20回、40回、80回、100回などで記念品を出しているところもあり、40回目で記念品をもらってにっこり。「会社を退職してから久しぶりに表彰された」でもなんだか嬉しいと高齢の方。
- ・町内会役員の方が先頭に立って行っている、やはりコミュニケーションや安否確認他にもつながりよいことで続けたい。
- ・初めは夏休みに小学生がやっているのに参加、その後みんなでも継続してやろうよとなり早9年。今ではラジオ体操は生活の励みになる、ここに来ることが楽しい(88歳の方)

◆私が感じたのは、参加者は全体的に子どもが急速に減り、熟年者が体操の中心(約9割)。子ども会がないので町内会が旗振り役、また、公園など使っているところは有志の方がごみ拾い(木々からの枯葉も多い)を行っているところが多い。

住宅地では音を小さくして行っているため若干聞きにくい場面もあり、周辺にも気を使いながらの体操である。

武山地域の太田和地区には保健所に登録しているところもあり、時間を見計らって伺っているが一部しか確認できていない。

昨年行っていた三笠公園内の「よこすかseasaidoパートナーズ」の方は、熱中症警戒アラートが出ており、ラジオ体操は行わないとの事でした。同じように考えている町内会などもあるように感じている。

ラジオ体操写真他(一部7月分あり)



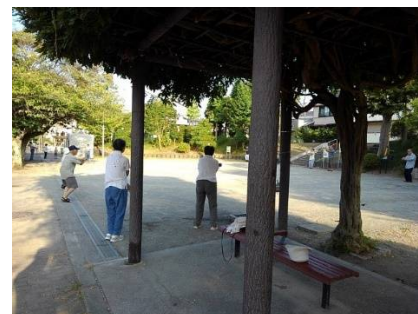
ラジオ体操のぼり旗



呼びかけのポスター1



呼びかけのポスター 2



参加の子供にご褒美?



〇〇回数参加記念品

